2026 年 3 月 11 日
多摩都市モノレール株式会社

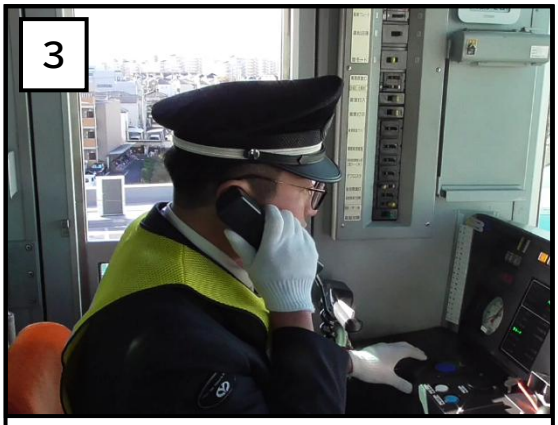
警察署と合同でテロ対処訓練を実施しました

【訓練レポート】

2026 年 2 月 24 日(火)、多摩センター駅において、実車両を使用したテロ対処訓練を実施しました。沿線警察署との連携のもと、異常発生時の初動対応や、お客様の安全確保の手順を実際の設備環境で確認し、対応力の向上を図りました。訓練当日の様子を、写真とともにご紹介します。

走行中の列車内で、突然不審者が周囲を威嚇し始める想定で訓練を開始しました。

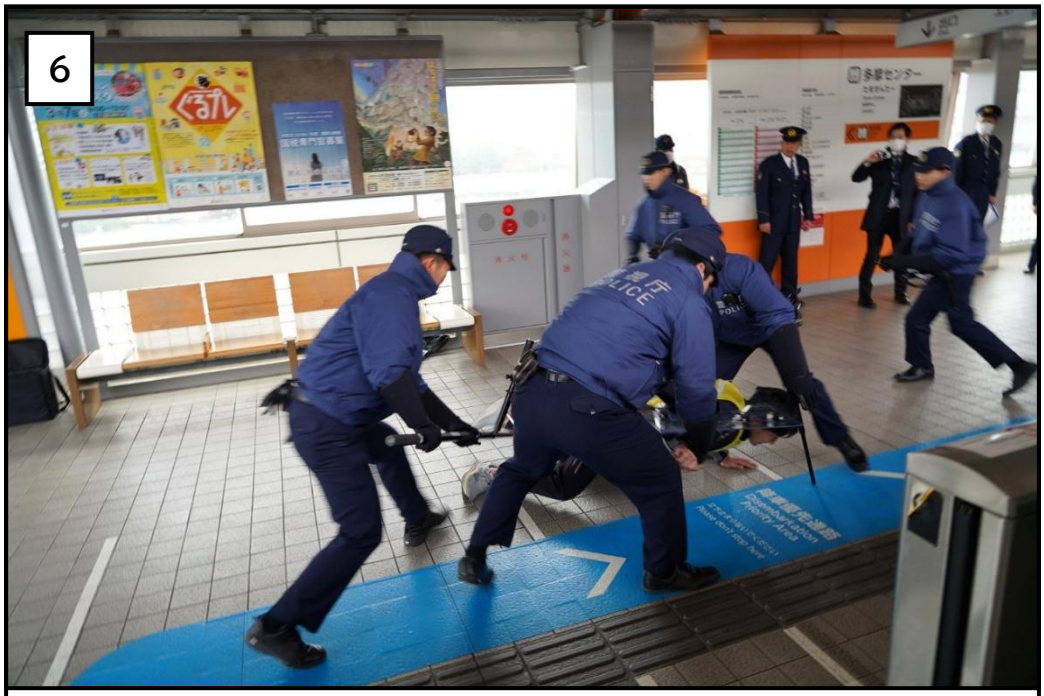
車内に設置されている非常通報装置で、乗務員へ状況を伝えるお客様役。



通報を受けた乗務員は、直ちに運輸指令へ状況を報告し、110 番通報を要請します。

乗務員から報告を受け、指令員は速やかに警察への 110 番通報を行います。

到着した列車へ急行し、刺股（さすまた）を構える駅係員と、防護盾を構える乗務員。不審者との距離を保ちながら、安全にお客様の避難誘導を行います。



110 番通報により駆けつけた警察官が不審者役を制圧し、状況が速やかに収束しました。一連の対応を通じて、安全確保までの手順を実践的に確認できました。

【訓練を終えて】

今回の訓練により、不測の事態におけるお客様の安全を確保するための対応手順を実践的に確認することができました。当社では引き続き、警察をはじめとする関係機関との連携を強化し、お客様の安全確保に向けた取り組みを継続してまいります。

訓練終了後、ご協力いただいた多摩中央警察署の皆さんと当社社員で集合写真を撮影。
今後も協力体制の強化を図り、より安全な輸送サービスの提供に努めます。

【輸送の安全確保のための多摩都市モノレールの取組のご紹介】

・不審者からお客様及び係員の安全を守るため、刺股、防刃手袋、防刃ベスト・防護盾等を主要駅や乗務員室に配備しております。
・車内には、異常・緊急時にお客様が乗務員または指令員と通話ができるよう、非常通報装置を設置しています。急病人が発生したときや不審物・不審者を発見したとき等にご使用ください。